高浜発電所１号機　Ｃ加圧器安全弁の出口温度上昇に伴う監視強化の状況

２０２６年１０月２１日
関西電力株式会社

高浜発電所１号機（加圧水型軽水炉：定格電気出力８２．６万キロワット）は定格熱出力一定運転中のところ、２０２６年１０月２日から加圧器安全弁※３台のうち、Ｃ加圧器安全弁の出口温度（以下、当該温度）が通常範囲（～約５０℃程度）を超えて上昇する傾向を示していることを確認したため、関連パラメータの監視強化を行っています。

なお、本事象による環境への放射能の影響はありません。

（２０２６年１０月３日お知らせ済み）

１０月５日以降、当該温度は通常範囲（～約５０℃程度）内で推移していましたが、１０月２０日１５時００分から上昇し、１０月２１日１４時００分時点で約６６℃となりました。その後、約６６℃前後で推移しています。

その他のプラントパラメータに異常はありません。

引き続き監視強化を行ってまいります。

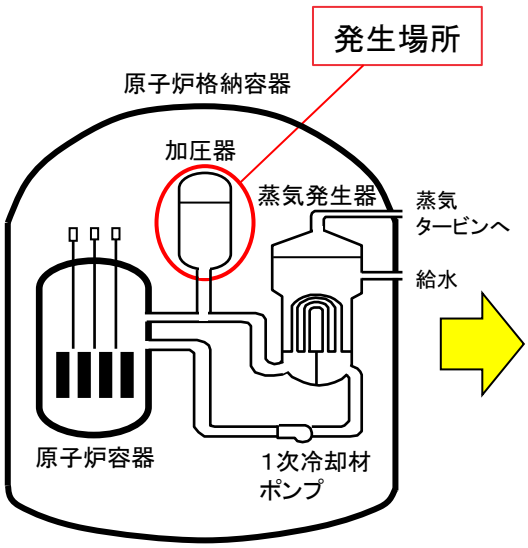
※：加圧器と加圧器逃がしタンクとの間に設置され、加圧器圧力（通常値約１５．４ＭＰａ）が高くなった時に、自動的に開放し加圧器逃がしタンクに圧力を逃がす弁。
加圧器圧力が約１６．１ＭＰａ以上になった時に開放する「加圧器逃がし弁」２台と、そのバックアップとして、約１７．２ＭＰａ以上になった時に開放する「Ａ加圧器安全弁」１台および約１７．３ＭＰａ以上になった時に開放する「ＢおよびＣ加圧器安全弁」２台の計３台がある。

以　上

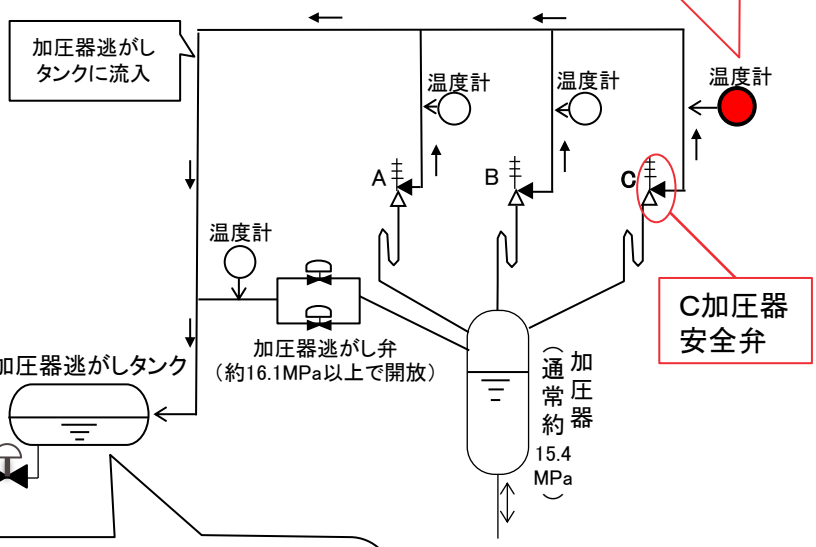
添付資料

高浜発電所1号機　C加圧器安全弁の出口温度上昇に伴う監視強化の状況

発生場所



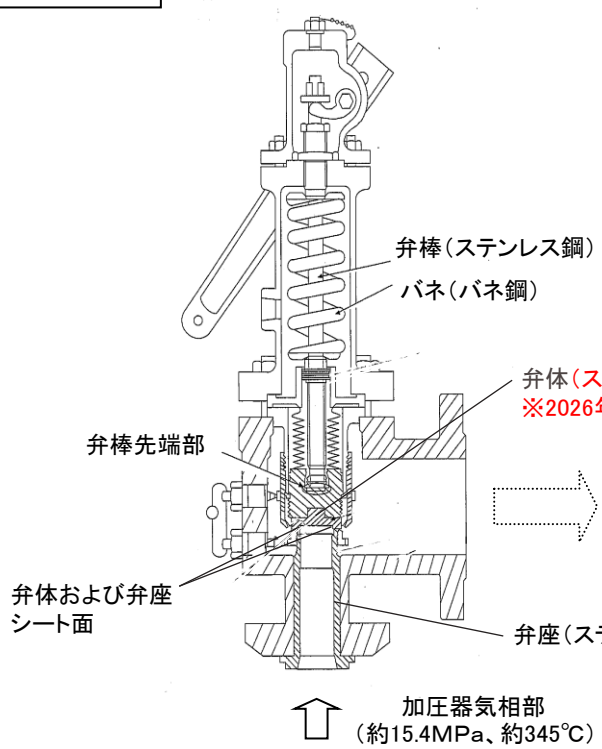
【温度変化状況】
10月5日以降、通常範囲（～約50℃程度）内で推移。
10月20日から加圧器安全弁の出口温度が上昇し、
現在約66℃前後で推移。



【加圧器逃がしタンクの状況】

	発生時（10/3）	現状（10/21）
水位	約73%	約75%
圧力	約29kPa	約34kPa
温度	約31℃	約29℃

加圧器安全弁構造図



［加圧器安全弁仕様］
呼径：約132mm
吹出圧力設定値：約17.3MPa